

# 令和5年度江の川上流水害タイムライン 第1回検討会 ニュースレター

令和5年6月8日（木）三次河川国道事務所及びWEB会議

令和5年度の出水期に備えて、タイムラインの運用や多機関連携がスムーズに行われるよう、江の川上流水害タイムライン（令和5年度版）の確認することを目的として、令和5年度第1回検討会を開催しました。

## ■ タイムラインの概要・運用

人事異動なども考慮し、出水期に円滑な出水対応の一助となるよう「江の川上流水害タイムライン<令和5年度版>」の概要及び運用について解説した。

## ■ 令和5年度版の変更点

「江の川上流水害タイムライン【詳細版】令和5年度版」の意見照会結果を共有した。また、令和4年度の出水対応を踏まえたタイムラインの改善のための3つのテーマについての意見照会結果の確認及び意見交換を行い令和5年度の運用における対応方針を確認した。

テーマ	対応方針
1 準備段階の対応について	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前情報に留意し各機関のマニュアルに沿った対応を的確に実施する。</li> <li>さらに必要に応じて対応を早める、強化するなどの行動をとる。</li> </ul>
2 オンライン情報共有について	<ul style="list-style-type: none"> <li>他河川の会議との開催時間の調整を行う。（協同開催等の検討は必要だがなるべくピンポイントの情報を伝達できると良い：検討会意見）</li> <li>参加機関以外のへの情報伝達の方法について検討する。（一時的でもよいので迅速に伝達できると良い：検討会意見）</li> </ul>
3 タイムライン訓練について	<ul style="list-style-type: none"> <li>出水期前に各機関で動画を見ながら各レベルの対応を確認。</li> <li>出水期中は訓練で特出すべき連携ポイントを確認する。（避難所開設のための連携、内水氾濫等の被害情報の迅速な共有：検討会意見）</li> </ul>

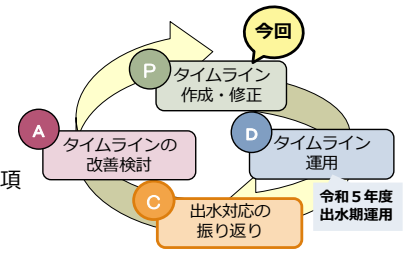
## ■ 令和5年度版に向けた確認

タイムライン訓練動画を用いて、レベル毎の状況の映像を見ながら、出水イメージをした上で、状況ごとの主な行動項目をタイムライン詳細版にて確認した。

想定最大浸水に備えた訓練動画～>



1. 開会挨拶
2. 江の川上流水害タイムラインの概要
3. 江の川上流水害タイムラインの運用
4. 江の川上流水害タイムライン  
(令和5年度版)の変更点
5. 令和5年度出水期に向けた確認
6. 令和5年度出水期の運用に向けての留意事項
7. 質疑応答
8. 講評
9. 閉会



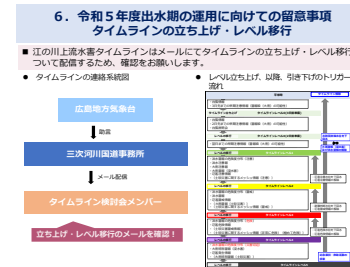
## ◆ 参加機関

出席：22機関（検討会構成機関：37機関）

三次市	広島県警察本部	日本放送協会 広島放送局
広島県水道広域連合企業団	三次警察署	広島テレビ放送株式会社
安芸高田市	安芸高田警察署	(株)三次ケーブルビジョン
広島県 土木建築局	備北地区消防組合消防本部	気象庁 広島地方気象台
広島県 西部建設事務所	安芸高田市消防本部	国土交通省三次河川国道事務所
広島県 北部建設事務所	中国電力ネットワーク(株)	国土交通省土師ダム管理所
三次農業共同組合	西日本高速道路(株)	国土交通省浜田河川国道事務所
社会福祉法人 水明会	備北交通株式会社	座長 広島大学 井上准教授

## ■ 運用に向けての留意事項

タイムラインを運用する上での留意事項やポータルサイトを共有した。



今回のように大きな出水がなくとも、準備段階で注意を呼びかけられた場合の対応について話し合って改善することは非常に良いことだと思う。また、オンライン情報共有における会議のタイミングについての課題等は、今年度の出水がある前に解決できれば良いと思う。

座長：井上先生



## まとめ

- ・自機関のマニュアルと本タイムラインの整合性を確認し、機関内で実施する項目や手順等も確認する。
- ・出水対応中はタイムラインの改善に向けて本検討会で検証した対応方針に留意する。
- ・ポータルサイトを活用し迅速な情報収集に役立てる。